

熊本県少年の船リーダー会について

文責 廣田浩之

1 少年の船リーダー会とは

名称

熊本県少年の船リーダー会（略称K S F L）

第1回～第5回少年の船時の会名は「班長会」

事務局

熊本県環境生活部県民生活総室青少年係内に置く（規約上の所在地）

H15.4から交通安全・青少年課に名称変更

目的

「少年の船」「少年友好の翼」「少年友好の船」で得た経験と友情をもとに会員相互の連絡協調を図り、併せて「少年友好の翼」「少年友好の船」事業の発展推進及び明るい地域社会づくりに寄与する。

会員

1. 熊本県少年の船リーダー（班長）並びに熊本県少年友好の翼、少年友好の船リーダー
2. 熊本県少年の船並びに熊本県少年友好の翼、少年友好の船事務局職員で本会活動に賛同するもの。
3. 本会の開催する事業において積極的に参加し、本会の発展に貢献したものの。

構成人員

第1回「少年の船」からすると、平成17年度の事業で通算27回目となる。過去、「少年の船」「少年友好の翼」「少年友好の船」「はるかぜ号」「しおかぜ号」「列島探検隊」「長崎わくわく探見隊」「NOZAKING」などの参加者を合わせると計1,000名近くの会員がいると思われる。

2 リーダー会の歴史

沿革

昭和54年度に国際児童年を記念し、第1回少年の船が出航する。帰港後に「班長会」が結成され活動を始めるが、数年後に解散してしまう。その後、第6回終了後に、国際青年年（昭和60年）を記念して、現在の「熊本県少年の船リーダー会」が結成され、現在に至る。

歴代会長

初代 山口 久臣	2代 細井 輝彦	3代 斉藤 勝治	4代 北 正純
5代 増田 忠敏	6代 新立 啓介	7代 濱田 孝正	8代 丸野 隆生
9代 永野 茂	10代 笠 聡一郎	11代 財津 憲司	12代 堀下 欣也
13代 加藤 丈雄	14代 廣田 浩之	15代 加藤 丈雄	16代 野中 孝久
17代 廣田 浩之	18/19代 洲崎 道友	20代 古庄 徹	21/22代 千代延和宏
23代 金子 秀一（現会長）			

事業

協力 「熊本県少年友好の翼」

（主催：熊本県・熊本県教育委員会・熊本県青少年育成県民会議・熊本県青年団体連絡協議会
主管：熊本県（県民生活総室〔交通安全・青少年課〕））

- ・平成17年度で事業終了

協力 「少年友好の船」

（主催：熊本県・熊本県教育委員会・熊本県青少年育成県民会議・熊本県青年団体連絡協議会
主管：熊本県青年団体連絡協議会）

- ・平成16年度で事業終了

3 リーダー会が加盟している各種団体

熊青連

- ・ 正式名称： 熊本県青年団体連絡協議会
- ・ 会長：廣田 浩之
- ・ 発足・目的：

県内の青年団体で構成する連絡協議会。昭和47年（1972年）に発足し、加盟各団体間の情報交換、および親睦を深め、お互いが力強く前進し、地域発展のために寄与していこうということから組織される。平成13年（2001年）に発足30周年を迎えた。

- ・ 加盟団体数：12団体
- ・ 主な活動：
総会（5月） 定例理事会（年4回） 「熊本県少年友好の船」事業主催・主管
団体交流会（年1回）

市青連

- ・ 正式名称：熊本市青年団体連絡協議会
- ・ 会長：横内 利幸
- ・ 発足・目的：

熊本市内の青年団体で構成する連絡協議会。1982年に発足し、市内の青年団体および各グループ相互の連絡提携を図り、団体およびグループ活動を促進するとともに、青少年の健全な育成を図ることを目的とする。

- ・ 加盟団体：19団体
- ・ 主な活動：総会（5月） 定例理事会（2ヶ月に1回） 研修会（3月・1泊2日）
団体交流会 ほか

4 リーダー会の活動

役員会

原則として月1回開催予定。場所は、主に熊本市青年会館をつかう。各種事業の打ち合わせ・反省、理事会对策などを主な議題とする。

理事会

年3回実施の予定。過去10回までの理事（回生理事）と主催事業参加者の代表（事業理事）役員により構成。原則的に大きな事業の前に行い、事業報告・計画案等協議・承認を受ける。

理事会の議決権は理事のみが持ち各回1票（計11票）の議決となる。定足数は理事の過半数の出席となり委任状も出席と見なす。

主催事業

7月のはじめから8月上旬で行う。参加希望者/応援者による実行委員会を組織し、事業の企画運営を行う。

広報誌の発行

昨年度は年3回の広報誌発行を計画し、発行した。年間を通した発行計画を。

その他事業

リーダー研修等のリーダー育成事業や、事業に参加したリーダー・スタッフ合同レク、その他小旅行、各種宴会、イベント等、役員が楽しんでやりたいと思うイベントを計画する。